

付録2

措置結果の記入要領

1. 記入要領

措置記録の記入については、定期点検とのデータの一元化を図り

- ・点検調書（その4-1）市民被害予防措置図
 - ・点検調書（その5）損傷図
 - ・点検調書（その6）損傷写真
 - ・点検調書（その7）損傷程度の評価記入表（主要部材）または、
点検調書（その8）損傷程度の評価記入表（点検調書（その7）に記載以外の部材）
- を使用する。

点検調書の記入要領を以下に示す。

1) 点検調書（その4-1）市民被害予防措置図

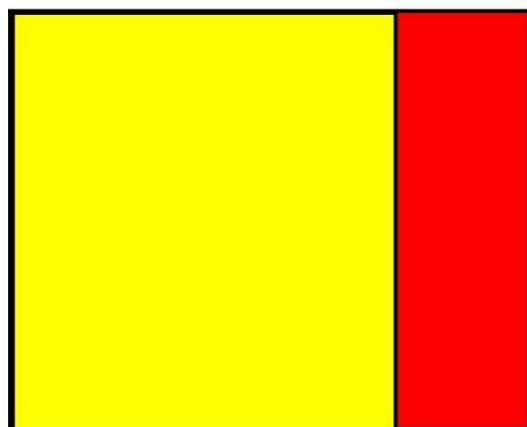
本調書では、対象径間の部材毎に被害措置図を作成する。

措置図は下記凡例を用いて以下の手順で作成する。

①点検手法について、以下に示す凡例を用いて記入する。

・打音点検実施箇所 

・打音点検不能箇所 



(P1)

2) 点検調書（その5）損傷図

定期点検の損傷図に打音点検を行って、除去できた箇所（C）、除去できなかつた箇所（B）を追記する。また、市民被害予防措置点検で新たに発見した損傷については定期点検の判定に従つて追記するものとする。

- ① 既補修部（R）を図示する。既補修部とは、剥落した損傷部を、コンクリート、モルタルにより補修した箇所を示す（防錆処理のみの部位は含まない）。既補修部についても打音検査等を実施した場合は、その旨図示する。
- ② 打音検査の結果に基づいて、清音部（A）と濁音部（B+C）を図示する。
- ③ 応急措置（叩き落し作業）の結果に基づいて、コンクリート塊が落ちなかつた箇所（B）、落ちた箇所（C）を図示する。
- ④ 措置図には、損傷判定区分に基づく判定区分を記入する
判定区分がB、Cについては、寸法（縦×横）を記載する。

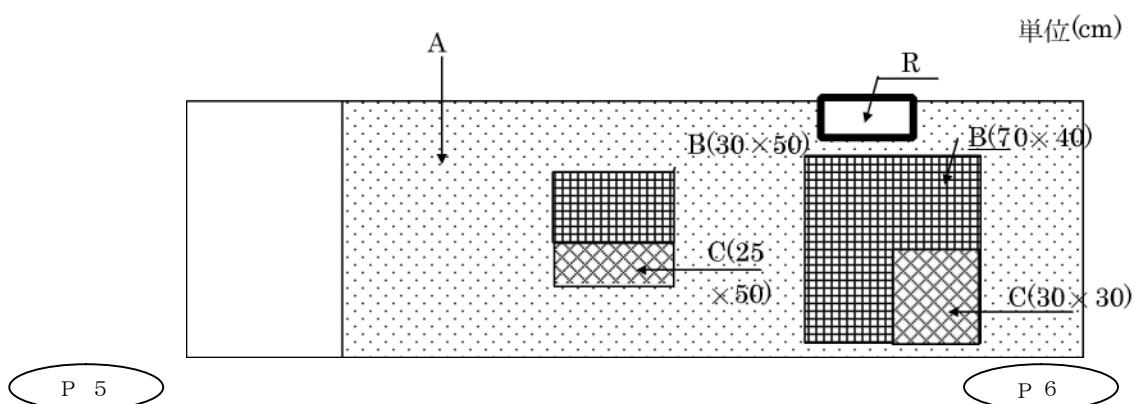
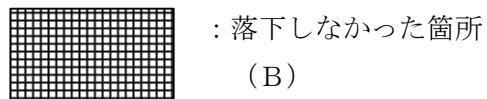
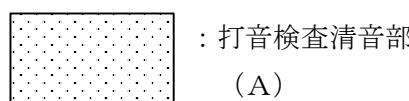


図3. 5 損傷図記入例（壁高欄）

3) 点検調書（その6）損傷写真

写真は以下のとおり作成する。

- ① 可視画像には、近接目視で特定した打音範囲を矩形等で図示する。
- ② 電子媒体を全て保管する。

【打音点検の記録写真】

- ① 音範囲ショーキング写真（叩き落とし前）
- ② 叩き落とし直後の写真（叩き落とし後）
- ③ 補修写真（防錆処理後）

4) 点検調書（その7）又は（その8）損傷程度の評価記入表

「損傷程度」欄には、表3. 4の判定区分を記載する。

表3. 4 損傷判定区分

判定区分	措置結果
A	打音検査の結果、異常なし。
B	応急措置（叩き落とし作業等）で落ちなかつた（撤去できなかつた）。
C	応急措置（叩き落とし作業等）で落ちた。
P	検査不可能（落下防止対策等が必要）

注1：同一の部材番号にB、Cの判定区分が存在する場合は、行を変えて各判定区分を記入する。

「損傷パターン」「損傷の種類」「分類」欄は、空白とする。

2. 記入例

点検調書(その4-1) 第三者被害措置図		径間番号	1
アリカナ 橋梁名 ○○橋	○○ハシ ○○橋	道路種別 農道又は林道	
所在地 自 至	広島市○区○○町 広島市○区○○町	路線名 ○ 線 緊急輸送道路 対象外	(代表点) ○ 線 緊急輸送道路 対象外
		管理区 ○○区	緯度 ○○°△△'□□" ○○°△△'□□" ○○°△△'□□" ○○°△△'□□"
		起点 (代表点)	調査更新 年月日 ○○○○年○月○日 ○○○○年○月○日 ○○○○年○月○日 ○○○○年○月○日
		終点	竣工年 ○○○○年
			橋梁コード #####

単位(cm)

A

R

B(70×40)

B(30×50)

C(25×50)

C(30×30)

P 5

P 6

要素番号図及び部材番号図

点検調書(その5) 損傷図		径間番号	1	
アリカナ 橋梁名 ○○橋	○○ハン	道路種別 農道又は林道	管理区 ○○区	橋梁コード ######
所在地 自 広島市○区○○町	路線名 ○○線	起点 (代表点) 緯度 ○○°△△'□□"	調査更新 年月日 ○○○○年○月○日	
至 広島市○区○○町	緊急輸送道路	終点 緯度 ○○°△△'□□"	竣工年 ○○○○年	

損傷図

桁下面図

第三者被害防止措置判定

床版Ds0101:剥離・鉄筋露出-d(B) [1,000 x 500]
写真番号013~014

主析Mg0106:②亀裂-e [L=300]
写真番号020~021

横析Cr0401:①腐食-d
写真番号007~010

支承Bh0401:①腐食-d
写真番号017~019

P1

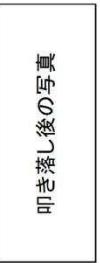
A1

損傷図記号凡例

ひびわれ	C	一
遊離石灰	Y	○
漏水	R	●
剥離	H	○
空洞、豆振	M	○
鍛筋露出腐食	T	×××
錆	S	○
抜け落下	N	○
角落	K	○
浮音	U	○
腐食	F	○
2方向ひびわれ	-	±
その他	X	○

点検調書(その6) 損傷写真

写真番号	001	径間番号	1
部材名	高欄・地覆	要素番号	0101
損傷の種類	うき	損傷程度	c
撮傷写真			

写真番号	002	径間番号	1	撮影年月日	2012.12.5
部材名	高欄・地覆	部材名	要素番号	要素番号	0101
損傷の種類	うき	損傷程度	うき	損傷程度	c
撮傷写真					
写真番号	003	径間番号	1	撮影年月日	2012.12.5
部材名	高欄・地覆	要素番号	0101	要素番号	0101
損傷の種類	うき	損傷程度	e	損傷程度	e
撮傷写真					
写真番号	004	径間番号	1	撮影年月日	2012.12.5
部材名	高欄・地覆	要素番号	0101	要素番号	0101
損傷の種類	うき	損傷程度	うき	損傷程度	うき
撮傷写真					

点検調書(その7) 損傷程度の記入表(主要部材)

橋梁名	所在地	管理区	○○区	橋梁コード	###
〇〇バシ 〇〇橋	自 広島市〇区〇〇町	道路種別 農道又は林道	起点緯度 〇〇°△△'□□"	調査更新年月日 〇〇〇〇年〇月〇日	
リリカナ	至 広島市〇区〇〇町	路線名称 〇〇 線	(代表点)緯度 〇〇°△△'□□"	終点緯度 〇〇°△△'□□"	竣工年
		緊急輸送道路	経度 〇〇°△△'□□"		